

## 平成15年度 社団法人日本自閉症協会千葉県支部活動報告

### 全般的活動

1. 支部の円滑かつ効率的な運営のために努力しました。
  - ① 事務所機能の充実に努めました。
  - ② 定期的な会議（運営委員会、分会長会議）や、プロジェクト会議（教育や出版など）を行いました。
  - ③ 支部役員、分会長メーリングリストを活用しました。
  - ④ 支部長編集のニューズレターを発行しました。
  - ⑤ 支部のポスターを作成しました。
2. 分会未設置地域を解消し、分会組織を整備しました。県内全域において各市町村行政機関への対応が可能となるとともに、自閉症支援の資源としての役割が充実しました。
3. Wi11クラブや各分会の高機能担当部門を中心として、高機能自閉症・アスペルガー症候群に関する取り組みを強化しました。
4. 千葉県支部要望書を千葉県知事へ提出しました。
5. 千葉県の福祉行政への参画、提言を行いました。
  - ① アクションプラン2004策定作業部会  
第2作業部会「自ら作る健康と安心を育む医療」（大屋滋支部長が部会長）  
第3作業部会「一人の人間としての尊厳の確保」（佐藤彰一船橋市分会長が部会長）
  - ② 千葉県地域福祉計画策定、タウンミーティングに積極的に参画
  - ③ 千葉県第3次障害者計画策定作業部会（支部長が委員）
6. 千葉県自閉症・発達障害支援センターCASとの連携を推進しました。
  - ① 千葉県自閉症・発達障害支援センター連絡協議会（支部長が議長）
  - ② 千葉県自閉症支援システム検討作業部会（支部長が部会長）
  - ③ CASや千葉県TEACCHプログラム研究会と協力して、講演会を開催しました。
  - ④ CASと連携し、千葉県医師会のご尽力により、自閉症や知的障害の人が受診できる医療機関の調査を行いました。
7. テーマを絞り、行政と連携した学際的な講演会を開催しました。
  - ① 医療をテーマとした「自閉症や知的障害をもつ人の医療に関するセミナー」
  - ② 生活と福祉をテーマとした「特別講演 英国の行政から見た自閉症支援」
  - ③ 司法をテーマとした「自閉症の人が関係した社会的トラブルへの対応」
8. 県内の障害者関係団体や関係機関との相互交流を励行しました。
9. 日本自閉症協会の活動に積極的に参画しました。また、他の都道府県の支部や関係団体との交流を深めました。

## 各部活動報告

### 事務局（事務局長 古屋 道夫）

1. 支部事務所の整備をしました。千葉市中央区院内1-2-7 アマノビル5階にて。
2. 役員会、分会長合同会議の議案書、議事録の作成。会議の準備をしました。
3. 連絡・調整・事務処理及び資料整理を役員・会員の協力をいただき行いました。

### 総務部（部長 矢作 貞代）

1. 日本自閉症協会「いとしご」「心を開く」直送会員名簿作成と管理。
2. 会員の入退会受付け手続き。
3. 支部への問い合わせに資料や入会申し込み書の送付。
4. 個人の電話相談受付け。
5. 諸申請他事務業務。
6. 日本自閉症協会発行の書籍販売。
7. 親子の旅事業の事務処理と11月23日 日帰り親子遠足（江戸東京博物館見学と隅田川周遊）の実施。

### 広報部（部長 朝倉 潤一）

1. みち65号を平成15年5月、66号を平成15年11月に発行しました。
2. 支部ホームページ、メーリングリストを運営しました。
3. 支部30周年記念誌を編集しました。

### 事業部（部長 坂本 秀美）

#### 1. Willクラブ

① 定例会 月1回 親のピアカンセリング、勉強会

② 講演会

5月24日 幸田栄先生（横浜市中部療育センター）

7月12日 田中康雄先生（国立精神保健センター）

8月23日 吉田友子先生（よこはま発達クリニック）

9月6日 12月14日 1月25日

服巻智子先生（それいゆ自閉症支援専門家養成センター）

③ 本人の企画による外出活動 3月7日 交通博物館

④ 電話相談 県支部事務所にて月2回行いました。

#### 2. 特別支援教育プロジェクト

各分会の特別支援教育に関心の高い会員により、構成され、メーリングリストを活用し、意見交換を行いました。

9月6日 千葉県教育庁特別支援教育室と面談

10月12日 プロジェクト会議

#### 3. ポスターの作成

原案が決まり、製作中です。

#### 4. おでかけ用ワッペンを200個購入し、分会へ委託販売をしました。

#### 5. 講演会「自閉症の人が関係した社会的トラブルへの対応」 2月28日

講師 佐藤彰一弁護士（船橋市海神公民館）